

こえに だして よみましょう。

いちようの実^み ⑦

みやざわけんじ
宮沢賢治

「わたしこまってしまいわ、おっかさんにもらった新^{あた}しい
外套^{がいとう}が見えないんですもの。」

「はやくおさがしなさいよ。どのえだにおいたの。」

「わすれてしまったわ。」

「こまったわね。これからひじょうに寒^{さむ}いでしょう。どう
しても見^みつけないといけなくってよ。」

「そら、ね。いいぱんだろう。ほしぶ^いどうがちよつと顔^{かお}をだ
してるだろう。はやくかばんへ入^いれたまえ。もうお日^ひさまが
おでましになるよ。」

「ありがとう。じゃもうよ。ありがとう。いっしょにいこ
うね。」

「こまったわ、わたし、どうしてもないわ。ほんとうにわた
しどうしましょう。」

「わたしとふたりでいきましようよ。わたしのをときどきか
してあげるわ。ここえたらいっしょに死^しにましようよ。」